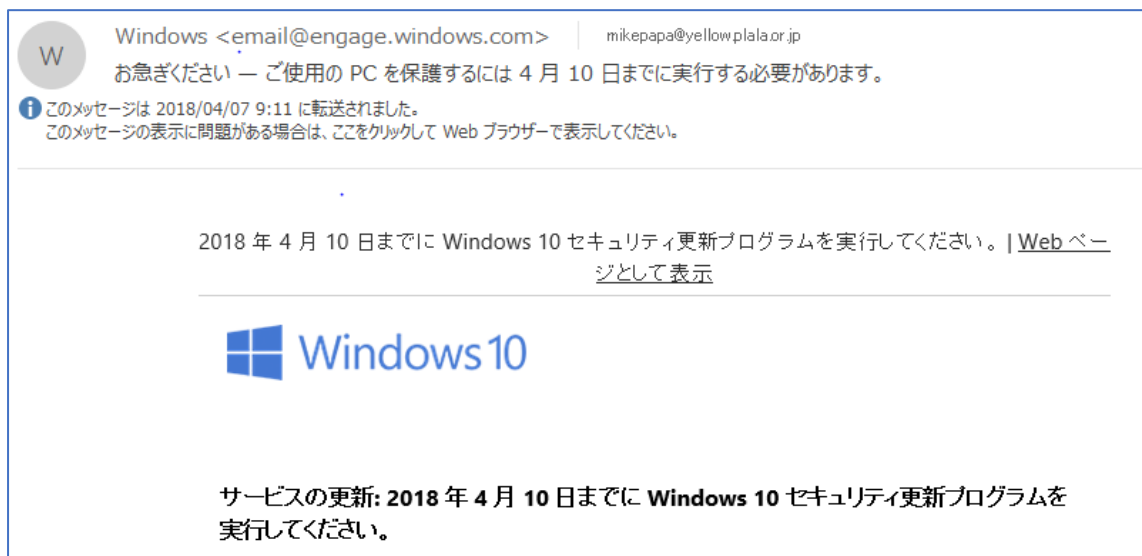


疑問？ まずはネットで

2018 年 4 月 8 日

By ミケパパ

昨日朝、私の受信トレイに下記のメールが来ていました。



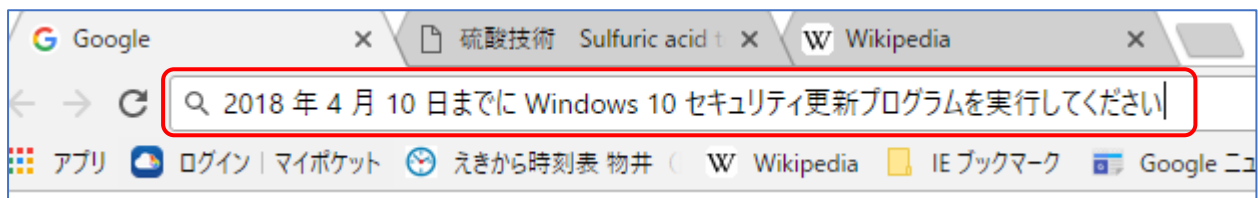
怪しいな～。 「お急ぎください」と書いてあるメールは、概ねインチキですので。

でも、下の方に一応 Microsoft のロゴもあるし・・・

こういう「怪しげなもの」は、インターネットで調べるのが一番です。

お使いのインターネットの画面で、キーワードを検索窓に入力すればよいのですが、今回は何をキーワードにしましょう？ 迷ったときは、「**文章そのもの**」を入れてしまうことです。

今回は「2018 年 4 月 10 日までに Windows 10 セキュリティ更新プログラムを実行してください」という文言をそのまま検索窓に入れました。



いろんな検索結果のページが出てきました。 マイクロソフトサポートのページなどですが、いまいちすつきりしません。 そこで、「そもそもこのメールアドレスは正しいのか？」と思い、メールアドレス

Windows <email@engage.windows.com>

をコピーして検索窓に貼り付け、検索してみましたら、出てきたページ。

迷惑メール？ 「お使いの PC には最新のセキュリティ機能が搭載されてい ...



<https://ipodtouching.info> > [トラブル・問題](#) ▼

2017/04/03 - Gmailで検知されて自動的に迷惑メールフォルダの中に入っていました。 Gmail迷惑メールに振り分けられた理由。 このメッセージが[迷惑メール]に振り分けられた理由： Googleの迷惑メールフィルタが検出したメッセージに類似しています。 よく見ると、送信元が「Windows」。 メールアドレスのドメインが「windows.com」。 Windows <email@engage.windows.com>。 うわっ、怪しい・・・と思いました。 なぜなら、Windows関連ならマイクロソフト社から来そうなのに。 ドメインで言えば、microsoft.comかと。

パソコンに堪能な個人のページですが、筆者自身が疑問点を一々調べ、最後は指示通り「更新プログラムを実行」してみた結果、間違いなく「マイクロソフト社からのメッセージだ」と分かったそうです。

じゃあ、と私もダウンロード・更新しました。 ウェブサイトに言って分かったのですが、要するにウィンドウズに付属している Defender というセキュリティソフトの更新だったらしく、別途ウィルス対策ソフトを入れていた方は無視してもよかったです。

「迷う人がいるかも」と思いまして、パソコンクラブの会員全員宛てに、「これはマイクロソフトからのメールです」と通知させてもらいました。

それはそれとして、ネット検索で肝心なのは

「適正なキーワード」を入力することです。

今回のように、よくわからぬ時は、関連しそうな長文の全部や、やってきたメールアドレスなどをコピーしてそのまま検索窓に貼り付けて調べてみることです。 真実怪しいものでしたら、偽装されている会社のサイトなどからの注意喚起の記事が出てくるはずですよ。

PC を操作中に、急に「あなたのパソコンには 1687 の問題が検出されました」とか「スパイウェアが検出されました」とかいうポップアップ画面が出てくることがあります。 こういうものは 100%近くがインチキ詐欺広告なのですが、このポップアップ、消しても消しても出てくることがあります。 この対策は、この「シニアのパソコン講座 第54回」に記述してありますが、その第1段階として「何というインチキ広告なのか？」を特定する必要があります。 その時も、広告の表題とかを検索入力して調べてください。

パソコンクラブの世話人を務めているせいか？ 時折「ええ？」というような驚きの質問に出くわします。 最近では「幹事会から送っていただいた総会の案内のメール(G メールです) が、フェイスブックに入っていました。 これを返信するにはどうしたらいいですか？」という質問を受けました。 まさしく「??？」です。 この時も、検索窓にそのまま「G メールがフェイスブックに表示される」と入れて検索しますと、いくつかの「G メールとフェイスブックの連携を解除する」という意味のサイト検索結果が出てきました。 皆さん、分からぬことは「まずご自分で」ネットで検索してお調べください。

検索結果の評価方法ですが、

1. 広告サイトは無視する

検索結果の URL アドレスの前に「広告」と表示されているサイトは、その名の通り「広告」です。 検索項目に沿っていればよいのですが、中には検索項目とは全く無縁の内容のサイト(多くは商用)に導かれたりしますのでご注意。

【BSA】無断複製ソフト対応窓口 | 秘密厳守、有力情報には報奨金。

広告 reporting.bsa.org/ ▼

情報は担当弁護士が厳重に管理するので安心。平均25万円の報奨金実績。

サービス: 情報提供のサポート, 告訴のサポート, 担当弁護士のサポート

2. 古い情報は避ける。

ネットの情報は、何時まで生きているのでしょうか？ と言いたくなるようなものもあります。 2004年とかの情報では今時の分進秒歩の時代には役に立ちません。 できるだけ新しいものを見ましょう。

3. 信頼性の高いものを選ぶ。

最近減りましたが、個人のサイトなどで結構「嘘」を堂々と書いてあるものもあります。 ただ一つの検索結果によらず、いくつかを比較して結論を出しましょう。 個人より団体、企業のサイトの方が一般的に信用できますが、企業は利害が絡みますのでそのところは考慮して読みましょう。 ロシアや中国では、国を挙げて偽情報を蔓延させているみたいですよ。

以上